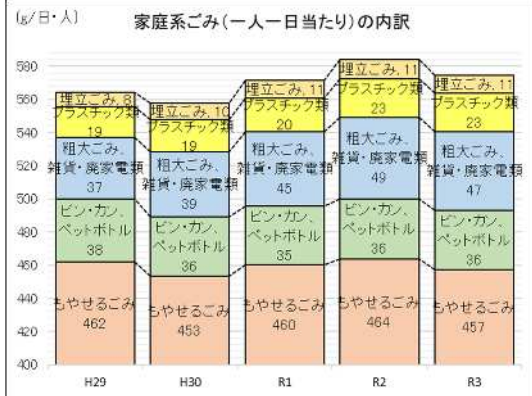
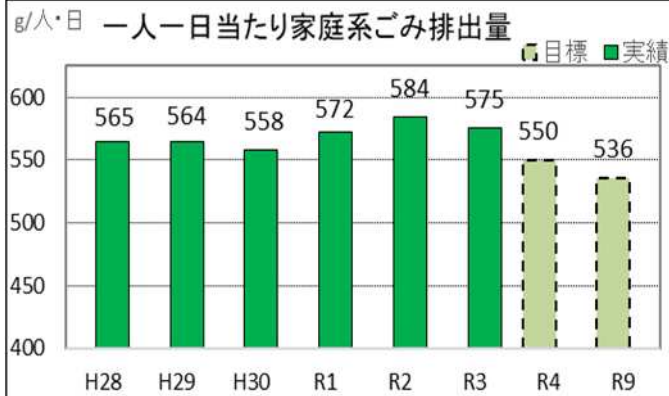


## 山形市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の目標値と令和 3 年度実績値

## 個別方針 1 発生・排出抑制に係る目標

## (1) 市民一人一日当たりの家庭系ごみの排出量の削減

計画策定時 (平成 28 年度)	実績 (令和 3 年度)	中間目標 (令和 4 年度)	目標 (令和 9 年度)
565 g/人・日	575 g/人・日	550 g/人・日	536 g/人・日
	H28 から 10g/人・日 (約 1.8%) 増加	H28 から 15g/人・日 (約 2.5%) 削減	H28 から 29g/人・日 (約 5%) 削減



## 令和 3 年度実績について

令和 3 年度は、新型コロナウイルスの影響により増加した令和 2 年度より 9g 減少しましたが、計画策定時の平成 28 年度より 10g 増加しました。

新型コロナウイルス感染症対策により、便利なテイクアウトやデリバリー、ネットショッピング等の新しい生活様式が定着し、テイクアウト等の食品容器やネットショッピング等の梱包材や緩衝材の増加傾向は引き続きあるものの、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で増加した、もやせるごみや雑貨品・小型廃家電類が、新型コロナウイルスの影響前に戻ったものによるものと考えられます。

家庭系ごみのうち、日常の生活で排出されるごみ（もやせるごみ、ビン・カン、ペットボトル）は、493g/人・日（令和 2 年度：500g/人・日）で、平成 28 年度の 501g/人・日より減少している一方で、粗大ごみ、雑貨・廃家電類、埋立ごみ（「日常の生活ごみ」に対して「片づけごみ」、「買い替えごみ」）の排出量は、57g/人・日（令和 2 年度：60g/人・日）で、平成 28 年度の 46g/人・日より増加しています。

## 令和 4 年度の取組みについて

全国的なレジ袋の有料化に合わせたマイバッグ利用の更なる促進と定着のはたらきかけや、食品ロスの削減に向けた PR など、「ごみ減量・もったいないねット山形」と一層の連携を図りながら、家庭から出るごみの排出量削減に向けた啓発を行います。

## 【参考】



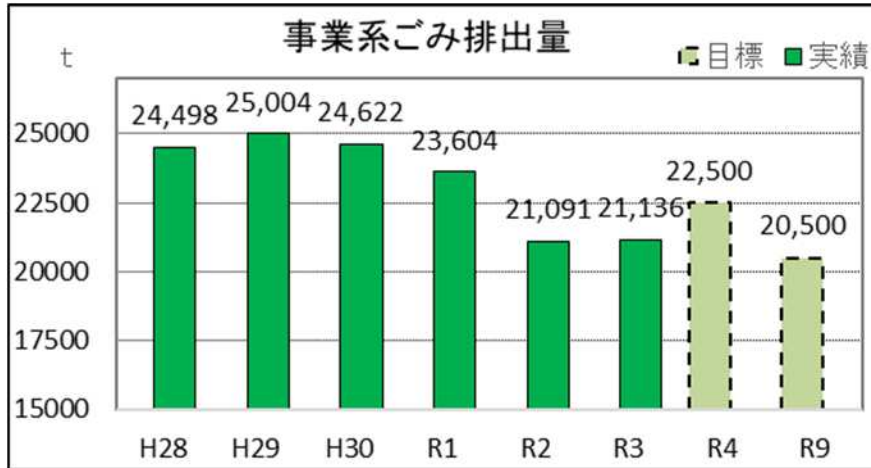
※ 平成 29 年度以降、エネルギー回収施設に搬入したプラスチック類、可燃性粗大ごみは「燃やせるごみ」として集計しています。

山形市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の目標値と令和3年度実績値

個別方針1 発生・排出抑制に係る目標

(2) 事業系ごみの排出量の削減

計画策定時 (平成28年度)	実績 (令和3年度)	中間目標 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
24,498 t/年	21,136 t/年	22,500 t/年	20,500 t/年
	H28から3,362 t (約14%)削減	H28から約2,000 t (約8%)削減	H28から約4,000 t (約16%)削減



令和3年度実績について

令和3年度は、計画策定時の平成28年度より約3,300 t減少しました。

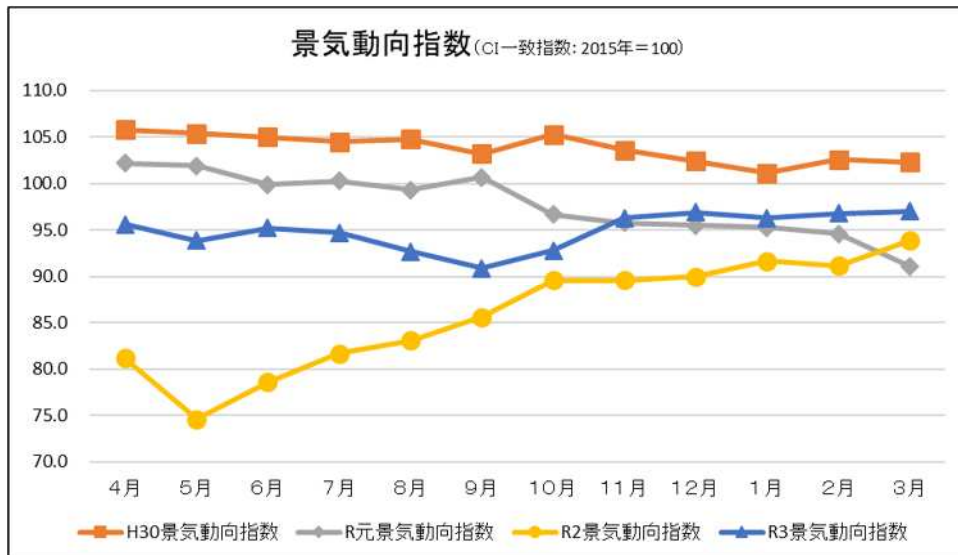
新型コロナウイルスの影響により激減した令和2年度と比べてやや増加しています。これは新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞が収まってきたと考えられます。

事業系ごみの量は、経済活動・景気動向に左右されることが考えられますが、景気動向指数は、11月頃からは令和元年度の同時期の水準まで回復してきています。

令和4年度の取組みについて

大規模事業者に作成を義務付けている「事業系廃棄物減量等計画書」により、減量・リサイクル意識の定着を図るとともに、事業所への訪問や排出されるごみの内容の調査等により適切な分別の助言、指導等を行います。

【参考】

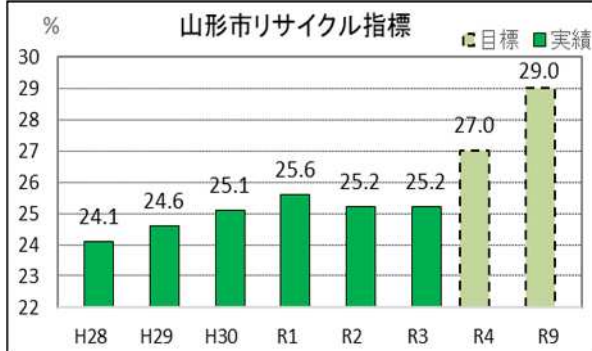


山形市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の目標値と令和3年度実績値

個別方針2 循環資源の有効利用に係る目標

(3) 山形市リサイクル指標の向上

計画策定時 (平成28年度)	実績 (令和3年度)	中間目標 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
24.1%	25.2%	27%	29%
	H28から1.1ポイント 上昇	H28から3ポイント上昇	H28から5ポイント上昇



【山形市リサイクル指標の対象とする資源化量】

- ①ごみ処理施設から排出する資源物
- ②資源回収量(地域団体等による資源回収、古紙類の集積所回収等)
- ③大規模事業所における再生利用量
- ④スーパー等における店頭回収量
- ⑤新聞販売店による回収量

令和3年度実績について

令和3年度は、計画策定時の平成28年度より1.1ポイント上昇し、令和2年度と同値となっています。

集団資源回収量や、令和2年度激増したスーパー等での資源物の店頭回収は減少しましたが、景気動向指数の上昇からも分かるように、事業活動が再開により大規模事業所の再生量は増加しました。

また、エネルギー回収施設や立谷川リサイクルセンターの資源物の回収量は減少していますが、家庭系ごみの全体の排出量も減少しているため、指標は令和2年度とほぼ同じとなっています。

令和4年度の取組みについて

行政回収のほか、集団資源回収や店頭回収の活用を推進し、さらなる取組み拡大を図るための広報等を実施していきます。

個別方針3 適正処理の推進に係る目標

(4) 最終処分量の減量

計画策定時 (平成28年度)	実績 (令和3年度)	中間目標 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
10,617 t/年	3,911 t/年	4,550 t/年	4,090 t/年
	H28から約6,706 t (約63%)削減	H28から約6,070 t (約57%)削減	H28から約6,530 t (約61%)削減



令和3年度実績について

令和2年度の実績で令和9年度の最終目標に達していましたが、令和3年度はさらに減少しました。理由としては、もやせるごみの総量が減少したことに伴い、焼却後の熔融飛灰も減少したこと、また一斉清掃の中止により埋立ごみが減少したためと考えられます。

令和4年度の取組みについて

家庭系、事業系を合わせたごみの排出量の削減に引き続き務めていきます。

山形市一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）の目標値と令和3年度実績値

個別方針1 生活排水処理施設の整備の推進に係る目標

(1) 生活排水処理率の向上

計画策定時 (平成28年度)	実績 (令和3年度)	中間目標 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
92.4%	94.5%	94.2%	95.4%
	H28から2.1ポイント 上昇	H28から1.8ポイント 上昇	H28から3ポイント 上昇



令和3年度実績について

し尿処理（汲み取り便槽）または単独処理浄化槽から下水道接続への切り替えが進み、生活排水処理率は順調に向上し、中間目標の94.2%に達しています。

令和4年度 of 取組みについて

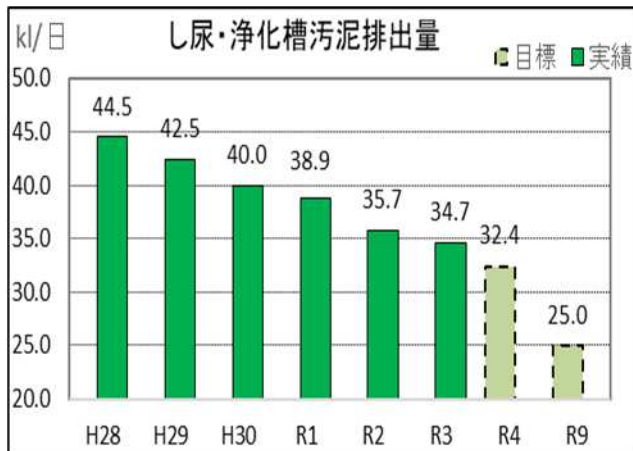
汲み取り便槽または単独浄化槽から下水道への切り替えに向けた啓発を行います。

$$\text{生活排水処理率} = \frac{\text{下水道接続人口} + \text{農業集落排水接続人口} + \text{合併処理浄化槽利用人口}}{\text{総人口}} \times 100$$

個別方針2 し尿・浄化槽汚泥の適正処理に係る目標

(2) し尿・浄化槽汚泥の排出量の削減

計画策定時 (平成28年度)	実績 (令和3年度)	中間目標 (令和4年度)	目標 (令和9年度)
し尿 11.2 kℓ/日 浄化槽汚泥 33.3 kℓ/日 合計 44.5 kℓ/日	し尿 8.1 kℓ/日 浄化槽汚泥 26.6 kℓ/日 合計 34.7 kℓ/日	し尿 9.6 kℓ/日 浄化槽汚泥 22.8 kℓ/日 合計 32.4 kℓ/日	し尿 8.0 kℓ/日 浄化槽汚泥 17.0 kℓ/日 合計 25.0 kℓ/日
	H28から約9.8 kℓ (約22%)削減	H28から12.1 kℓ (約27%)削減	H28から19.5 kℓ (約44%)削減



令和3年度実績について

し尿汲み取り人口、浄化槽人口は減少しています。し尿・浄化槽汚泥は適正処理されています。

- ・し尿汲み取り人口 3.0%減
- ・浄化槽人口（単独処理・合併処理） 8.3%減  
(R2年度との比較)

令和4年度 of 取組みについて

し尿・浄化槽汚泥の処理量減少に応じた適正処理維持のため、関係機関と連携し実施してまいります。